



## 天狗山展望台のシンボル「天狗桜」の後継樹が里帰り

ー林木遺伝子銀行110番による巨樹・名木等のクローン増殖の取組ー

### ポイント

老木化により樹勢が衰えた「天狗桜」(北海道小樽市)の後継樹の苗木が、国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所 林木育種センター北海道育種場から里帰ります。

### 概要

国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター北海道育種場(北海道江別市)では、我が国の貴重な林木遺伝資源の保存を図るとともに、品種改良等に活用することを目的とした林木ジーンバンク事業を実施しています。

この事業では、各地の天然記念物や巨樹・名木等の収集・保存を行うとともに、事業の一環として、要請により後継樹を増殖する取組である「林木遺伝子銀行110番」を行っています。

今回は、小樽市から増殖の要請を受けた「天狗桜」(エゾヤマザクラ)の後継樹として、つぎ木によって増殖し育てた苗木が里帰ります。

里帰り日時：令和6年5月10日(金) 10時

植樹場所：小樽天狗山 天狗桜展望台

### 問い合わせ先

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 森林総合研究所林木育種センター

北海道育種場(平日 8:30~17:15) Tel:011-386-5087 Fax:011-386-5420

事業責任者：遺伝資源管理課 課長	にしおか	なおき
	西岡	直樹
担当者：	いらい	まさたか
	岩井	大岳
広報担当者：連絡調整課	やまぐち	きょうへい
	山口	恭平

本資料は、北海道庁道政記者クラブに配布しています。

## 背景・経緯

全国には、学校や神社など身近な場所で地元の人々に親しまれ、ふるさとのシンボルとなっている天然記念物や巨樹・名木等が数多く存在します。こうした巨樹・名木等は、長い年月にわたって、風雪に耐え生育し続けているので、自然環境に対する適応性や抵抗性に優れている可能性が高く、林木遺伝資源として貴重なものです。一方で、樹木の中には衰弱しているものもあり、後継樹を増殖することが求められていました。

このため、林木育種センターでは、これら巨樹・名木等の収集・保存を進めるとともに、所有者等からの要請により衰弱している樹木の後継樹を増殖し、里帰りを行う取組である「林木遺伝子銀行 110 番」を平成 15 年から実施しています。これまでに、全国から 333 件の要請があり、255 件の巨樹・名木等の後継樹の里帰りを実施してきました（令和 5 年度末）。後継樹は、さし木やつぎ木で増殖したクローン苗木であり、親木と同じ遺伝子を持っていることから二代目として大きく成長することが期待されます。

## 内容

今回、里帰りする後継樹の親木は、「北海道三大夜景」にも数えられている小樽市の天狗山の展望台の脇に植えられた樹齢 100 年を超える一本桜「天狗桜」です（写真左）。この桜の木は明治時代に植えられたもので、樹高約 5 m、幹周り約 235 cm を超える大木です。天狗山は小樽市内を一望できるほど標高が高いため、市内で一番遅く開花する桜として多くの市民に親しまれています。写真（左）にあるようにこの桜は変わった樹形をしており、花が満開の時期には桃色のハートに見えるため観光スポットになっています。

しかしながら、近年は老木化により樹勢に衰えが見られるようになり、小樽市長から「林木遺伝子銀行 110 番」の依頼を受け令和 3 年につぎ木を行い、12 本のつぎ木クローンの増殖に成功しました。その後、苗木は順調に生育し、屋外に植栽しても生育できる見込みとなったことから、このうち 6 本が小樽市に里帰りすることになりました（写真右）。

## 図、表、写真等



「天狗桜」



「天狗桜」の後継樹